

新中期経営計画(2026年3月期-2028年3月期)

個人と組織がともに成長し続けるDIGITAL WORKを実現する

2025年5月12日

株式会社データ・アプリケーション

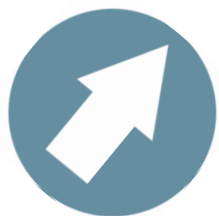
証券コード：3848

新中期経営計画（2026年3月期-2028年3月期）へ移行する理由

DALグループとして連結ベースでの中期経営計画を市場に対して提示



前中期経営計画（2025年3月期-2027年3月期）は
当社単体での今後の成長方針の内容だったが
3社がグループインしたことでDAL「グループ」としての
新たな中期経営計画を開示すべき状況となった



連結決算に再度移行したことに伴い
現中期経営計画（2025年3月期-2027年3月期）での数値目標の目途がつき
連結での今後の数値目標を明示すべき状況となった

2026年3月期を初年度とする3か年の新中期経営計画を策定

事業戦略

DIGITAL WORKの実現と
当社の企業成長を両立すべく
三本の柱を設定

計数計画

業績伸長および重要事業戦略指標に加え
戦略的投資を実施する上で収益性を
正確にはかる指標を採用

財務方針

資本コストや株価を意識しつつ
株主還元の基本方針は変更せず
ROE目標値、配当下限額を設定

- 事業領域の拡大・開拓
- 収益安定性の向上
- 人的資本経営の推進

	2028年3月期 目標値
売上高(連結)	60億円
EBITDA(連結)	10億円

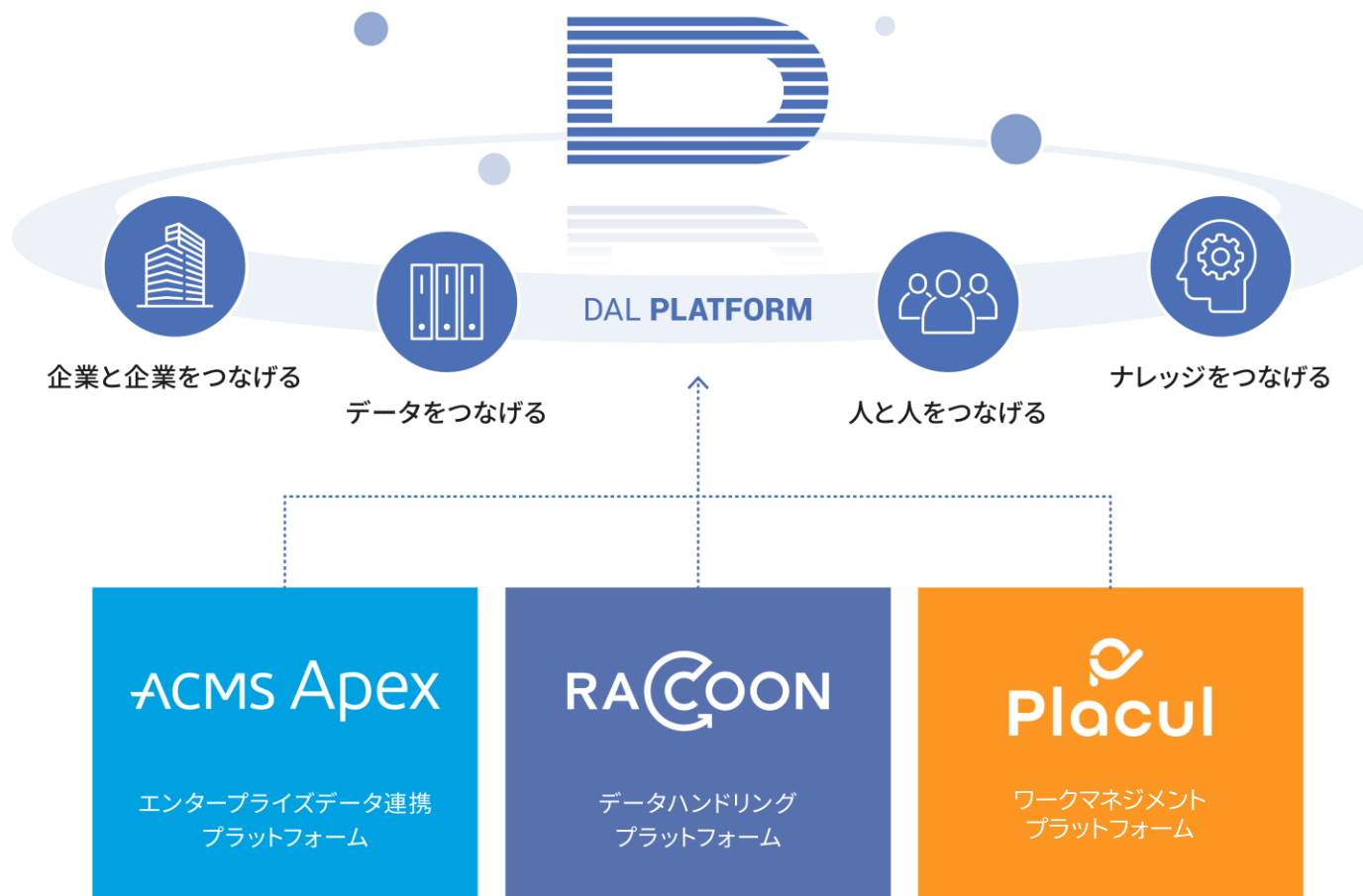
※EBITDA＝営業利益＋償却費＋株式報酬費用

	毎期の水準
DOE	3.5%水準
配当下限額	25円
	2028年3月期 目標値
ROE	15%以上

予測不能なVUCA（ブーカ）の時代：ダボス会議が提唱

		状況の把握	
		既知	未知
行動の予測	予測可能	<div>Volatile</div> <div>【変動】</div> <div>市場や状況が急激に変化する時代</div>	<div>Complex</div> <div>【複雑】</div> <div>複数の要素が絡み合う時代</div>
	予測不能	<div>Uncertain</div> <div>【不確実】</div> <div>予測が困難な時代</div>	<div>Ambiguous</div> <div>【曖昧】</div> <div>正確な情報に欠け、解釈が難しい時代</div>

中期ビジョン：個人と組織がともに成長し続けるDIGITAL WORKを実現する



グループ全体の事業成長を担う三本の柱

事業領域の拡大・開拓

データ連携市場の更なる拡大

AIによるデータ利活用事業の展開

SI・インフラソリューションの拡大

SaaS市場への展開

収益安定性の向上

全ライセンスのサブスク化

サービス型ビジネスの拡充

グループ全体での業務効率の向上

グループ全体でのコスト最適化

人的資本経営の推進

優秀な人財の獲得

人財育成の強化

ウェルビーイングの推進

グループ内での人財の柔軟な活用



DIGITAL WORKの実現

事業セグメントを分割し事業ポートフォリオを構築

Software Development
ソフトウェア事業



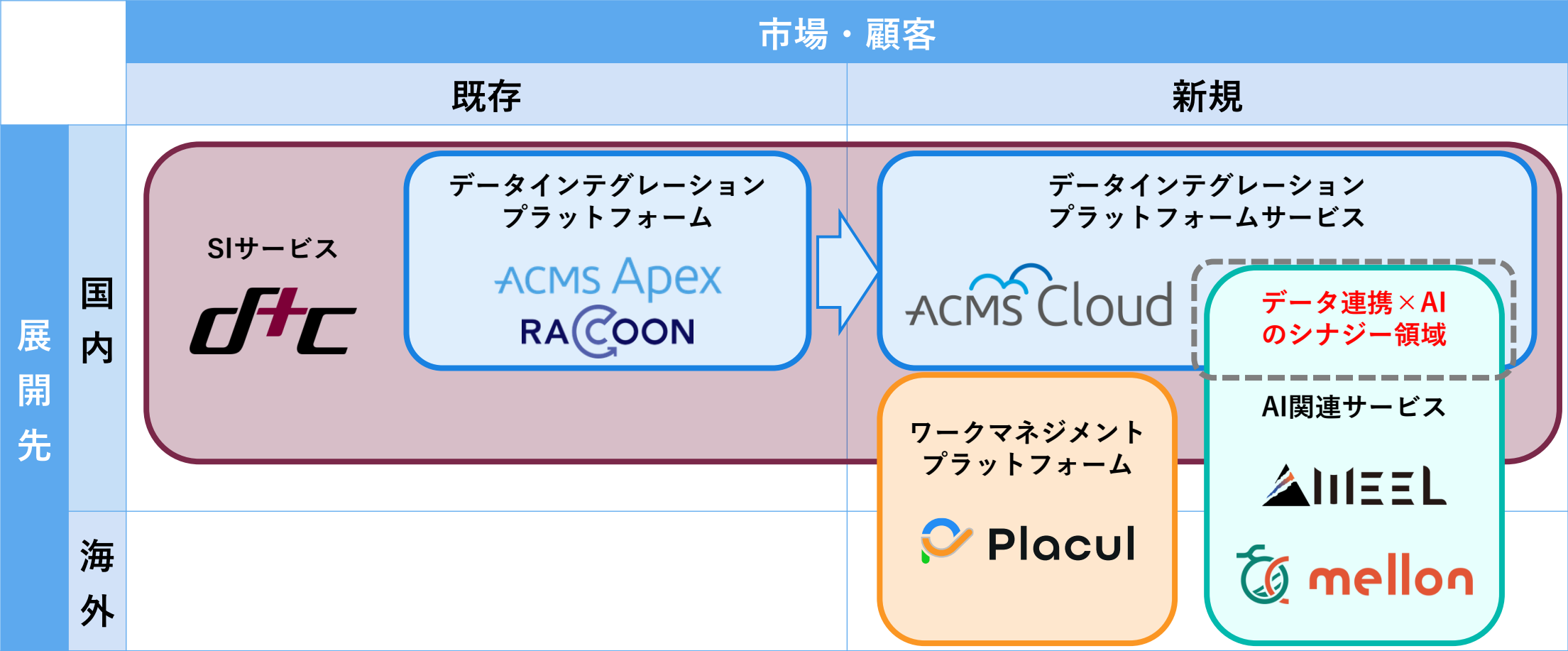
System Integration
システムインテグレーション事業



Artificial Intelligence
AI関連事業

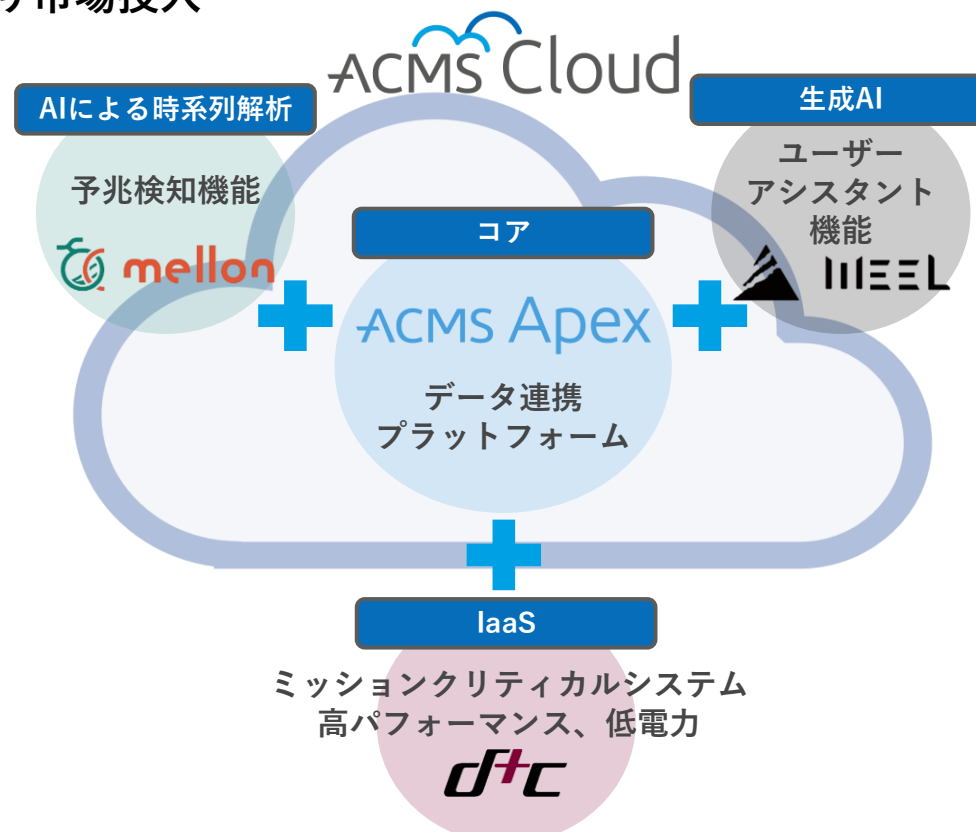
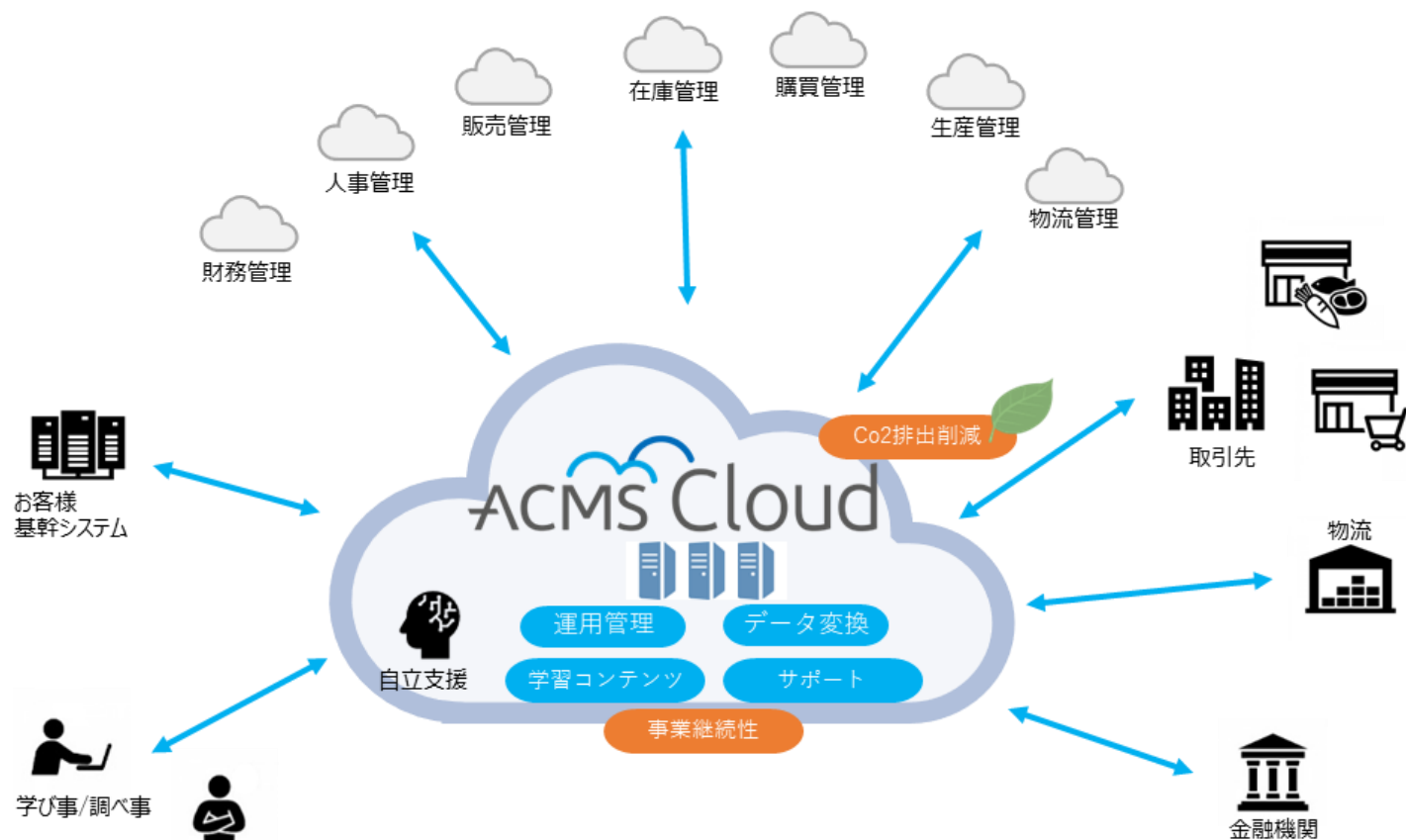


事業戦略の三本の柱：事業領域の拡大・開拓



事業戦略の三本の柱：収益安定性の向上

サービスビジネスの拡充として「つなぐ力をすべての人へ」をコンセプトに
DALグループフラグシップ・ソリューション「ACMS Cloud」を当期より市場投入



グループ4社の叡智を結集しソリューションを実現へ

事業戦略の三本の柱：収益安定性の向上

Sales：安定的な売上伸長を実現へ

全ライセンスのサブスク化



Cost：業務効率・コスト最適化を目指す



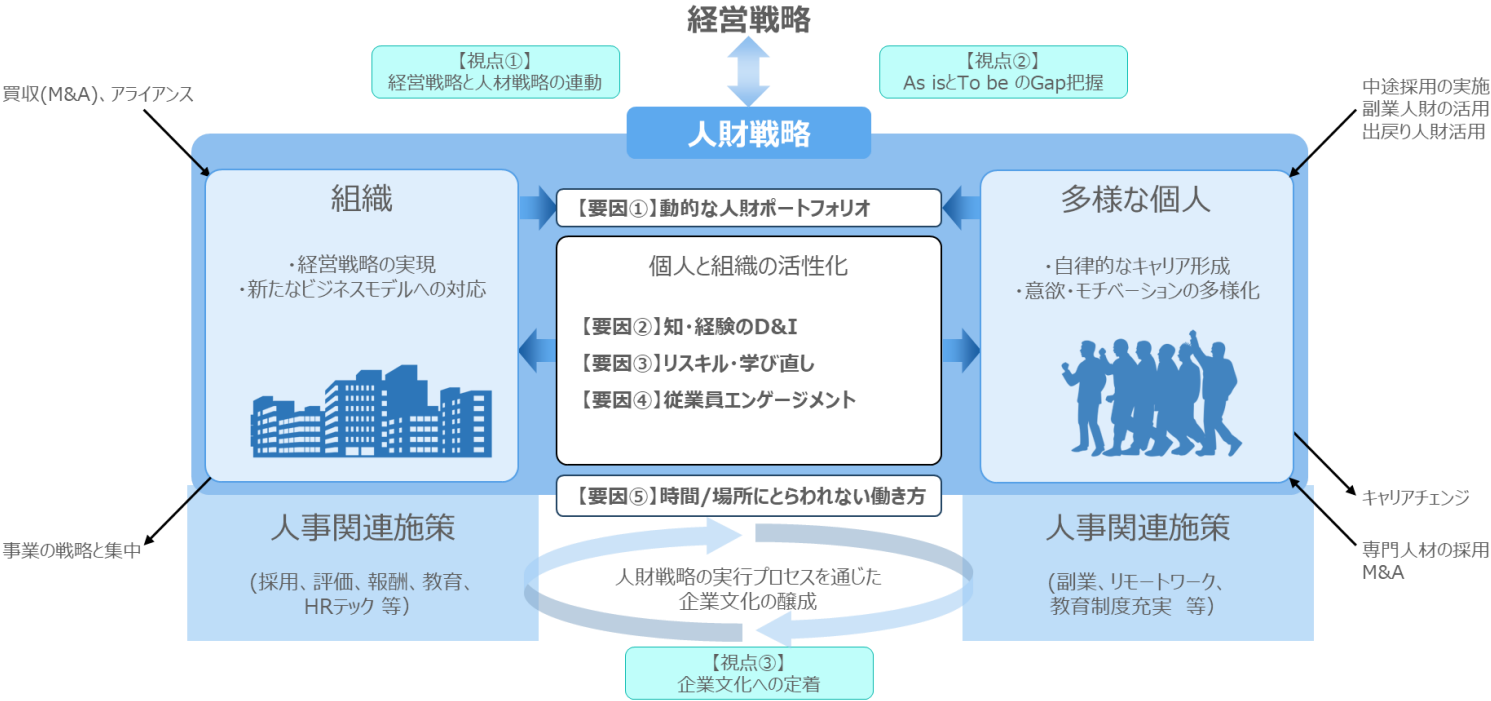
事業戦略の三本の柱：人的資本経営の推進

当社グループにとって人財は
「長期的な成長と成功のための重要な資産」

人的資本経営のフレームワーク
(3P・5Fモデル)に準じ

- 「人財ポートフォリオの構築」
- 「人財の多様性向上」
- 「エンゲージメント向上」
- 「自由な働き方」
- 「経営目標・課題の組織全体での共有」

を通して、企業価値向上を促進



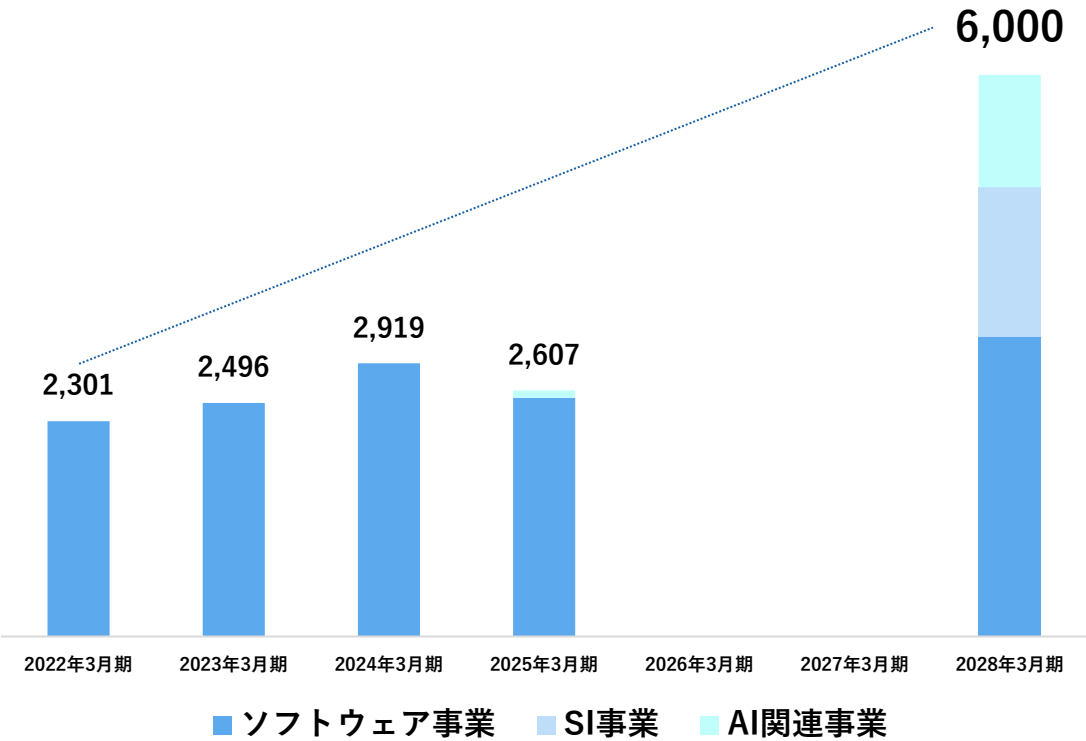
連結ベースでのPL目標

	2028年3月期 目標値	【参考】 2025年3月期実績
売上高(連結)	60億円	26億円
EBITDA(連結)※	10億円	4.4億円

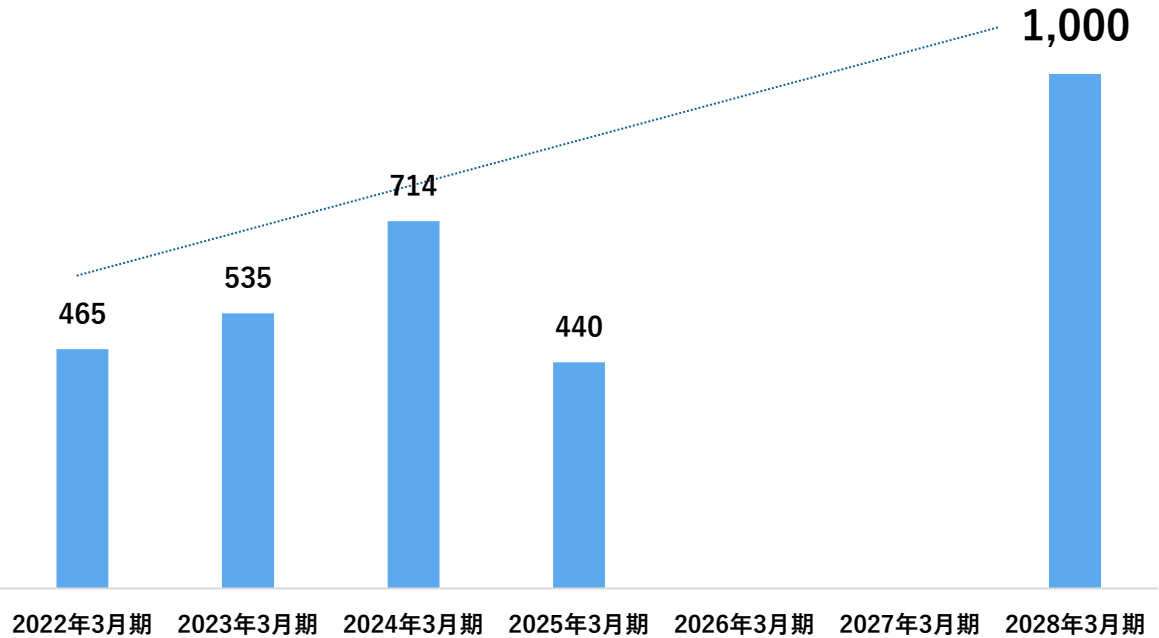
※ EBITDA = 営業利益 + 償却費 + 株式報酬費用

グループ全体にて新しい売上ポートフォリオ・利益構造を創出

売上高(連結)



EBITDA(連結)



資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、株主還元の基本方針は変更せず
ROE目標値、配当下限額を設定

株主還元方針

株主資本配当率（DOE）3.5%

の水準を目途に実施

配当下限額 25円

優待制度の継続

ROE

最終年度（2028年3月期）15%以上 を目標とする。

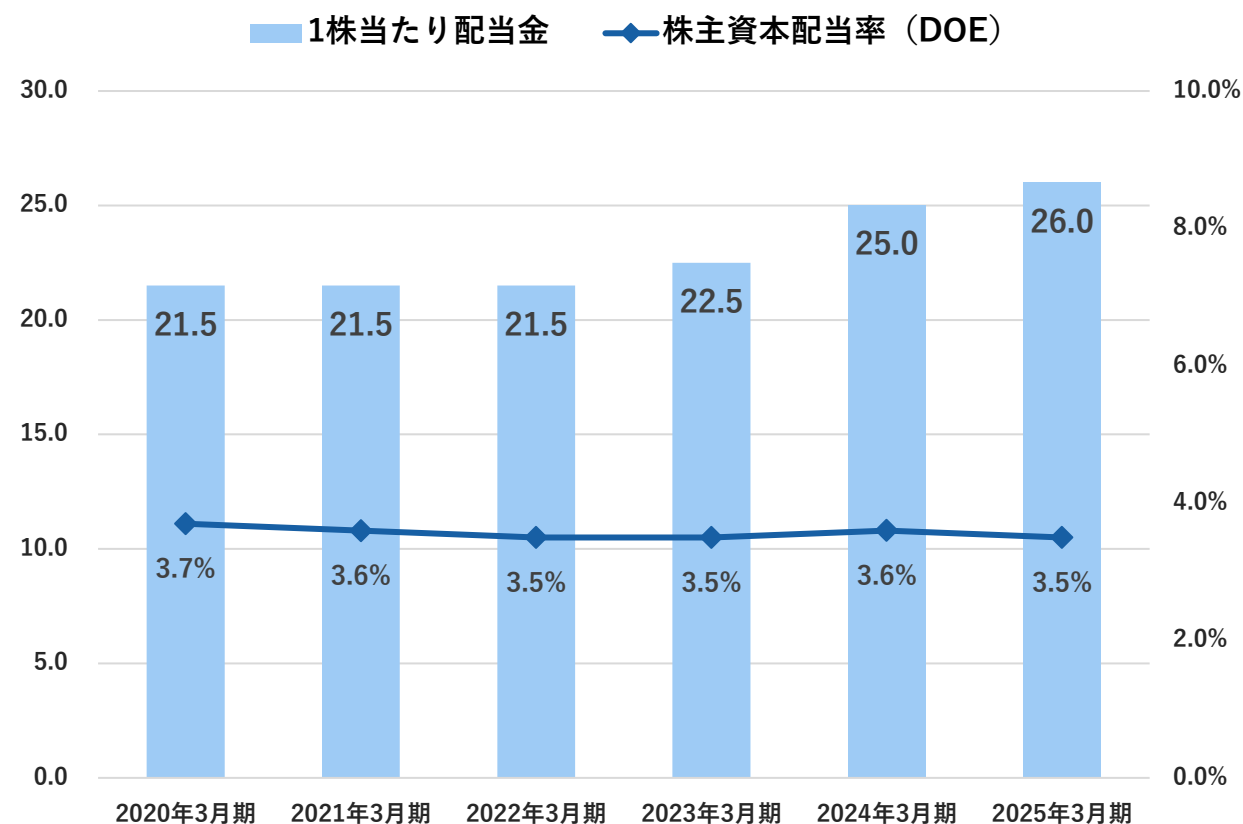
株主還元方針：配当に対する基本方針 ※ 従来の方針と同様

短期的な業績指標に基づくものではなく、財務体質の強化と長期的な企業価値の向上を踏まえたものでありたいという考えのもと、安定的・継続的な配当を実施

株主資本配当率（DOE） 3.5%

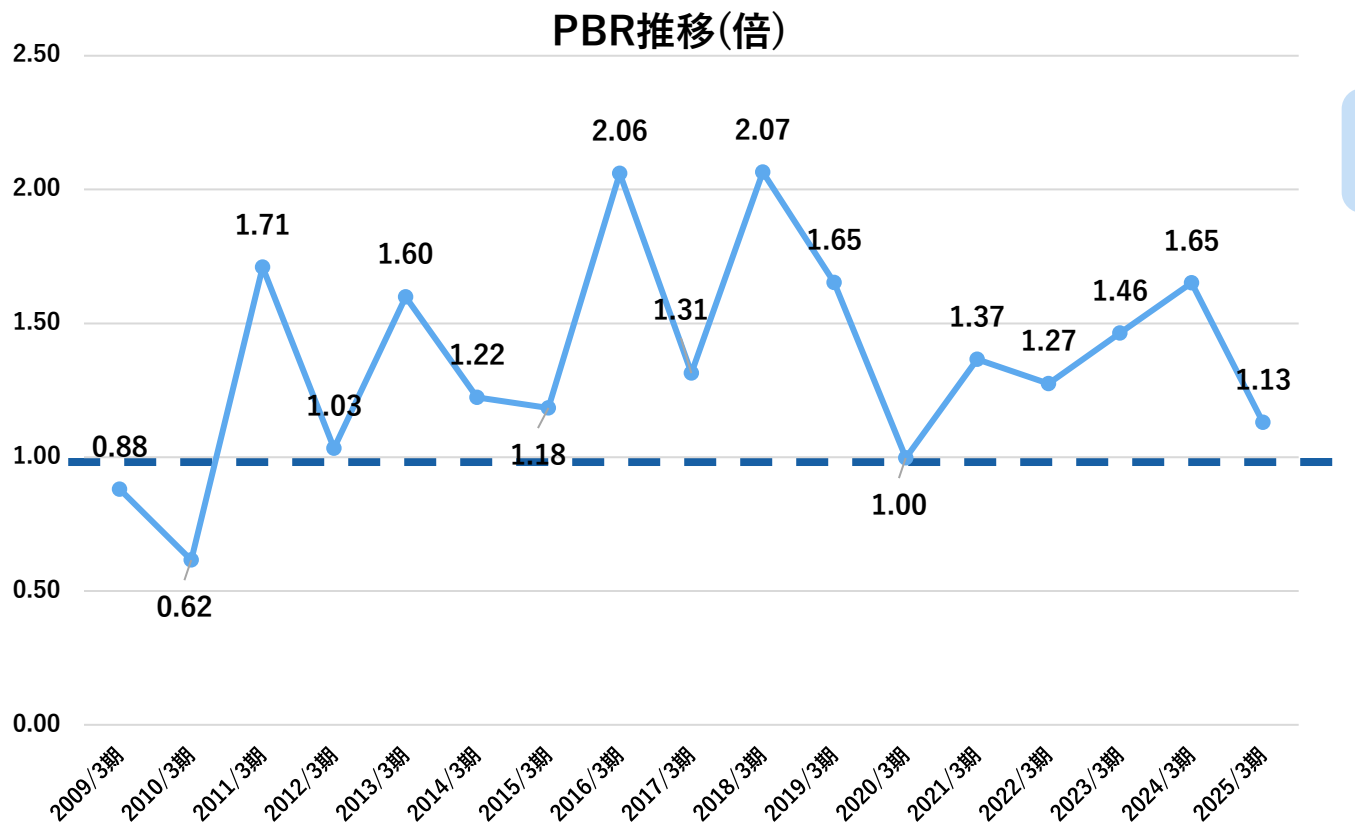
の水準を目途に実施

配当下限額として **25円**



企業価値向上についての認識

PBR1倍を割れる状況ではないが、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を実現するため
資本コストを意識した経営に取り組む



リスク
フリーレート

0.1%程度

+

資本コスト

β

0.4~0.5

×

リスク
プレミアム

6~8%

=

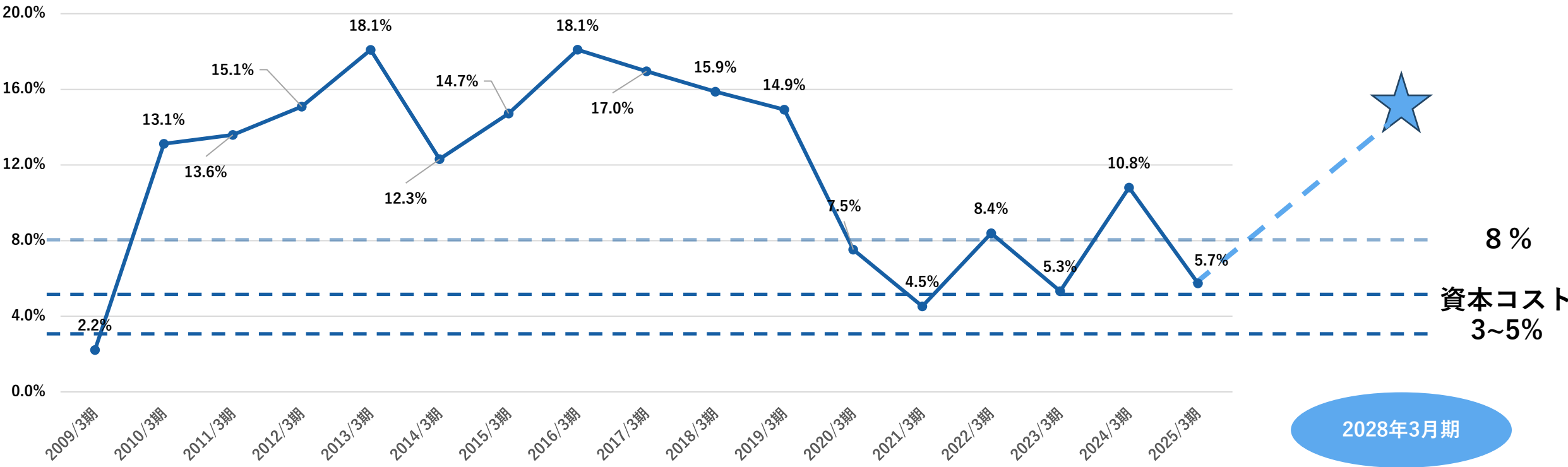
資本コスト

3~5%

企業価値向上のための目標ROE（連結ベース）

現在のROE水準は資本コストを上回っているものの過去水準と比較し見劣りしているとの認識
収益性の向上とバランス使途の効率化などを通し、資本コスト及び過去水準と同等のROEの実現を目指す

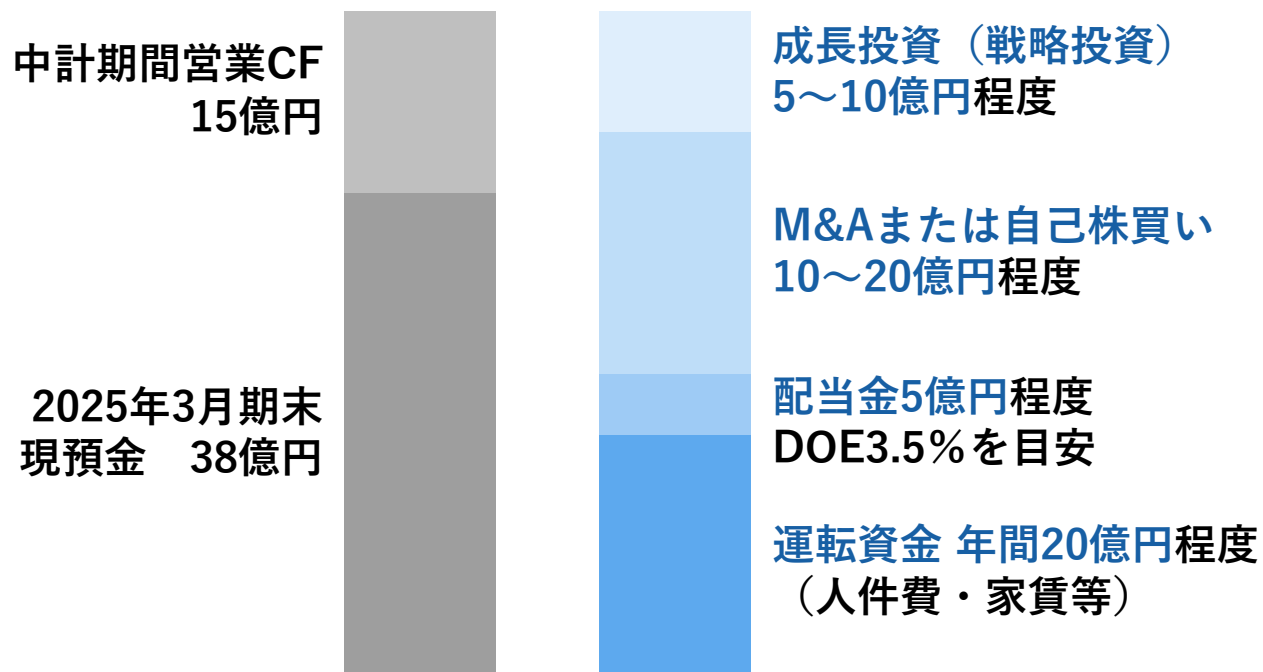
過去及び目標ROEと資本コスト



キャピタルアロケーション

事業運営に必要な現預金の水準を運転資金の水準より推定し、その水準を踏まえ
余剰現預金と本計画の営業CF見通しから、キャピタル・アロケーションを策定

キャピタルアロケーション方針 (2026年3月期～2028年3月期)



データと一緒にワクワクする未来へ。
Connect Data, Connect the World.

DAI



【IRに関するお問い合わせ先】

DAL

株式会社データ・アプリケーション

〒104-0028

東京都中央区八重洲2-2-1東京ミッドタウン八重洲
八重洲セントラルタワー27F

Phone 03-6370-0909

E-Mail ir@dal.co.jp



公式サイト



公式Facebook



公式X



公式YouTube



公式note

- ※ 現在、働き方改革の観点から、在宅勤務と出社のハイブリッド勤務推奨のため、お電話でのお問い合わせの場合、折り返しのお電話になりますことをご了承下さい。
- ※ 本資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。
- ※ 投資を行う際は、当社が作成する有価証券報告書をご覧いただいた上で、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

・DAL、ACMS、ACMS Cloud、ACMS Apex、E²X、WebFramer、RACCOON、AnyTran、OCRtran、Placulは、株式会社データ・アプリケーションの日本および海外での商標または登録商標です。

・その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。